

—学校教育目標—

豊かな心をもち

自ら学ぶたくましい子

(1)よく考えねばり強く学ぶ子

(2)心豊かで思いやりのある子

(3)すすんで体をきたえる元気な子

学校便り

第26号

H30年9月6日(木)

那覇市立

仲井真小学校

発行責任者

校長 宮里 廉

TEL 917-3330

仲井真っ子

校内童話お話大会

学年代表

【1-4】喜屋武慶汰（きやんけいた）さん	演題「おさがり」
【1-1】山城希里（やましろきり）さん	演題「オバーとマーガそばやへ行く」
【2-1】中村義優（なかむらよしや）さん	演題「まわりねこ」
【2-3】上間杏美（うえまあみ）さん	演題「おさがり」
【3-1】柴田未来希（しばたみらの）さん	演題「いちごだいふくちゃん」
【3-3】亀山琉稀（かめやまりゅうき）さん	演題「オバーとマーガそばやへ行く」
【4-3】佐藤京十（さとうけいと）さん	演題「好きなことをするために」
【4-3】宮国佑衣（みやぐにゆい）さん	演題「わたしとかりー」
【5-3】亀山元徳（かめやまげんとく）さん	演題「嫌いだった漢字練習」
【5-1】宮城涼風（みやぎそよか）さん	演題「祖母の介護から学んだこと」

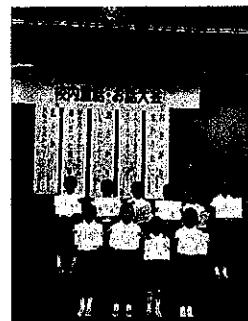
第18回校内童話お話大会が9月5日(水)の午後3時45分から本校体育館で行われました。所要時間は一人4分以上5分以内です。低学年は、童話をしっかりと覚え、身振り手振りで表情豊かに発表し、高学年は自分の体験や感じたことを作文にして、自分の意見や考えをしっかりとまとめ、聞き手に伝わるように大きな声で堂々と発表していました。

仲井真小学校のレベルの高さに驚きました。私は、出場した仲井真っ子の良い点を3つ見つけました。

一つ目は、実際に体験したこと、話題が豊富である。
二つ目は、物語を自分のものにして表現することが上手である。
三つ目は、高学年は、創作。創作にしても着眼点が面白い。

肌で感じた経験があるからこそ、聴く人にストレートに伝わるのだと感じました。なるほどと相づちを打つ場面も何度かありました。

また、大人の評価だけではなく、聞いているお友だちにも伝わっていました。
発表終了後、審査が行われ、下記の4人が学校代表に選ばされました。



【低・男子】	亀山琉稀（かめやまりゅうき）さん(3年)	演題「オバーとマーガそばやへ行く」
【低・女子】	上間杏美（うえまあみ）さん(2年)	演題「おさがり」
【高・男子】	亀山元徳（かめやまげんとく）さん(5年)	演題「嫌いだった漢字練習」
【高・女子】	宮城涼風（みやぎそよか）(5年)	演題「祖母の介護から学んだこと」

学校代表4人の皆さんには、10月3日(水)の真和志南ブロック童話・お話大会へ出場します。その大会でも自分の持っている力を全力で發揮して、頑張ってください。

今回代表になれなかった皆さんには、来年また練習して、挑戦して欲しいと思います。